

学校だより



川西市立多田小学校

11月号 平成29年11月1日

学校HP：<http://www.kawanishi-hyg.ed.jp/tadapo/>

修学旅行に行ってきました！

10月16・17日と、6年生は修学旅行に行ってきました。

修学旅行の目的のひとつは、広島での平和学習でした。

平和集会では『ヒロシマの有る国で』を堂々と歌い、千羽鶴を献納し、黙祷をしました。

資料館では見学の前に被爆証言者の豊永さんにお話をさせていただきました。とても悲しい、つらい体験談を子どもたちはメモを取りながら静かに聞き入っていました。

子どもたちは、広島を訪れ平和について学習した一人として『平和』への思いをより強くしたことと思います。

二日間とも行動していて、電車の中でのマナーのよさや、「どうぞ」と一声かけて席を譲る姿などいろんな場面で6年生のみんなの優しさや思いやりに触れることがあり、頼もしさを感じました。

誰もが楽しく生活するためには、社会のルールや集団生活のきまりを身につけていくことが大切です。我慢すること、人と協力すること、他人を思いやり尊重することや、社会で生活していくルールを集団生活の中で学び、実践してくれた6年生は立派でした。

このことは勉強でも同じです。一緒に学ぶことによってお互いに教えあい、意見交換する中でいろいろな考え方や解決の方法があることを知り、友達からの刺激で学習意欲もさらに高まります。集団で学ぶことの良さは、学校でこそできるものです。

これからも学校は、学力と社会性を身につける場、社会の一員としての資質を育てる場となるよう取り組んでいきたいと思っています。



11月の祝日

11月3日は「文化の日」です。そして、『多田文化祭』が4日・5日に開催されます。国民の祝日に関する法律によれば、「文化の日」は「自由と平和を愛し、文化をすすめる」と定められています。

「文化」とは、説明が大変むずかしいものですが、人間が自然に手を加えて形成してきた物心両面の成果で、衣食住をはじめさまざまな生活形式の様式と内容があると言えるのかもしれませんが、かんたんに言うと、「世界中の人が安心して生活ができること。そんな日が来ることを願い、実現をしていく日」のことをいいます。この文化の日は、初めは文化祭として提案されましたが、文化祭だけでは、あまりに行事としての意味となるとという反対意見もあり、昭和21年11月3日の日本国憲法の交付の日にちなみ、11月3日を文化祭ではなく文化の日と決定しました。それから、戦争放棄や主権在民を宣言し、平和と文化を強調した新憲法の願いを込めた祝日であることも覚えておきましょう。

11月には祝日がもう1日あります。23日の「勤労感謝の日」です。

「勤労感謝の日」は昭和23年(1948年)に制定された国民の休日です。この日ができた理由は、「勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう」ことを大切にしようと考えたからです。勤労というのは、仕事に就いて働くことです。働くと、私たちの生活に必要なものが作り出されます。このことを生産といいます。

私たちの暮らしは、たくさんの方がいろいろな仕事に就いて、それぞれに一生懸命働いているお陰で生活ができています。食べ物や着る物、生活を支える物や必要な物をつくってくれたり、社会に役立つ仕事をしてれています。こうして、私たちの住む社会ができて、日本という国が成り立っているのです。ですから、たくさんの方が色々な所で働いていることに、私たちが感謝の心を持つことは、とても大切なことなのです。

さて、学校ではどうでしょうか。たとえば、給食当番が配膳をしなかったり、食器の片づけをしなかったら、学校の時間の流れが止まってしまいます。そうじ当番が自分の仕事をおろそかにしたら、たちまちこのきれいな校舎がごみだらけになってしまいます。それぞれが自分の役割・仕事を一生懸命おこなうことで、学校が生き生きとし、楽しい毎日がおくれるのです。役割だから仕方なくやるのではなく、進んで多くの人のためになる仕事をした後のすがすがしさは、自分自身のためになっていることに気がつくと思います。来月の初めには、個人懇談もあります。先生方は、子どもたちの学習面だけでなく、役割・仕事の面でも伸びてほしいところを1学期よりももっと具体的に教えてくれることでしょう。

創立記念日！

11月5日は多田小学校、139回目の創立記念日を迎えます。

明治12年11月5日に新田・平野・東多田の三村と多田院・西多田・矢間の三村が合併し、そこに柳谷・芋生・若宮の三村を加え多田村新田に多田小学校が設立されました。そして、昭和29年市制実施により川西市立多田小学校と改称されました。

昭和53年には児童数が1000人を超え、昭和57年には1461人にもなりました。現在の児童数は534人です。

多田小学校がこのように発展し、素晴らしい学校になったのは、多くの先輩方の努力、地域や保護者のみなさまの協力や願いの賜物です。創立記念日は、まさに「温故知新」、故(ふる)きを温(たず)ねて、新(あた)らしきを知る機会でもあります。

11月5日は、意義ある節目の日として迎えてほしいと思います。

日々の学校生活についても、ホームページで紹介しています。ご覧ください。